



平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年1月31日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
(URL <http://www.takara.co.jp/>)

(コード番号：2531 東証・大証一部)

代表者 役職名 取締役社長
問合せ先責任者 役職名 取締役IR室長

氏名 大宮 久
氏名 松崎 修一郎

TEL (075) 241-5124

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容) 法人税等の税金費用の計上については簡便法によっております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
(内容) (連結) 新規4社 (持分法) 除外1社

2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	151,489	△0.4	7,900	△7.2	8,024	△2.3	6,640	78.2
17年3月期第3四半期	152,149	0.1	8,513	△4.3	8,214	△4.3	3,727	△31.9
(参考) 17年3月期	195,359		7,402		6,838		2,614	

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	30.89	—
17年3月期第3四半期	17.27	—
(参考) 17年3月期	11.74	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	219,706	101,469	46.2	468.73
17年3月期第3四半期	205,659	91,063	44.3	422.09
(参考) 17年3月期	190,773	89,478	46.9	414.58

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	△582	△10,667	1,003	21,525
17年3月期第3四半期	△703	△3,587	10,290	26,442
(参考) 17年3月期	7,489	△4,786	5,047	28,151

【参考】

平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

平成17年11月15日の平成18年3月期中間決算発表時の予想から、下記のように変更しております。

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
今回修正予想	200,000	6,900	5,300
従来予想	200,000	6,900	4,400

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 今回修正予想 24円01銭 従来予想 20円26銭

※上記の業績予想に関する事項については、3ページを御参照下さい。

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

【第3四半期までの概況】

当第3四半期（平成17年4月1日～平成17年12月31日まで）の連結売上高は151,489百万円（前年同期比99.6%）となりました。利益につきましては、連結営業利益は7,900百万円（前年同期比92.8%）、連結経常利益は8,024百万円（前年同期比97.7%）、連結四半期純利益は子会社等の新株発行による持分変動利益2,583百万円などがありましたので、6,640百万円（前年同期比178.2%）となりました。

事業の種類別セグメントの業績概要は以下のとおりです。

【酒類・食品部門】

焼酎カテゴリーでは、「純」「純レジェンド」などを中心とするニュータイプ焼酎が減少しましたものの、「本格芋焼酎「一刻者」（いっこもん）」を中心とする高付加価値本格焼酎が好調に推移したため、焼酎全体では前年同期比100.7%の61,911百万円となりました。

ソフトアルコール飲料カテゴリーでは、昨年3月に新発売しました“タカラcanチューハイ「本格辛口」”の寄与などもありましたが、“タカラcanチューハイ「WMI X」”などの落ち込みが大きく、ソフトアルコール飲料全体では前年同期比91.2%の15,490百万円となりました。

清酒カテゴリーでは、国内の清酒市場全体が長期に低迷するなか、戦略商品であるソフトパック“松竹梅「天」”が大幅に増加し、また、原料、水、造りにこだわった「松竹梅白壁蔵」商品群も好調に推移したため、前年同期比102.7%の20,806百万円となりました。

調味料カテゴリーでは、成長する「中食市場」において加工・業務用調味料の拡売が順調にすすみ、みりん、料理清酒などの酒類調味料が好調に推移しました結果、調味料全体では前年同期比103.1%の16,677百万円となりました。

飲料カテゴリーでは、機能性食品事業への転換を図り、健康機能を持った商品開発に注力しておりますが、果実飲料や健康飲料、乳飲料などが大幅に減少し、飲料全体では86.6%の9,773百万円となりました。

原料用アルコール等につきましては酒類用アルコールや工業用アルコールが増加した結果、その売上高は前年同期比101.8%の2,761百万円となりました。

以上の結果、酒類・食品部門の売上高は前年同期比98.7%の138,205百万円となりました。また、営業損益におきましては、コストダウン・コストカットに努めたものの販売促進費の増加などもあり、前年同期比95.5%の9,345百万円となりました。

【バイオ部門】

遺伝子工学研究分野では、バイオテクノロジーを利用した新製品・新技術開発競争の激化等厳しい状況が続いており理化学機器が減少となりましたものの、主力製品である研究用試薬が増収となりましたので、前年同期を上回る売上高となりました。

遺伝子医療分野においては、レトロネクチン®や医療機器関連製品が好調に推移したことから、前年同期を上回る売上高となりました。

また、医食品バイオ分野においては、寒天関連商品が好調な売れ行きとなり、前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、バイオ部門の売上高は、前年同期比113.4%の10,765百万円となりました。また、営業利益につきましては販売促進費の増加などもあり1,262百万円の損失（前年同期は1,128百万円の損失）となりました。

【その他の部門】

その他の部門は印刷事業や不動産賃貸事業が中心ですが、その売上高は印刷事業で1,878百万円、不動産賃貸事業で256百万円など、合計2,518百万円（前年同期比93.6%）となり、営業利益は461百万円（前年同期比102.8%）となりました。

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期末の総資産は前年同期比14,047百万円増加し219,706百万円となりました。子会社であるタカラバイオ株式会社における現金及び預金の減少などがありましたものの、当第3四半期までに買収しましたClontech Laboratories, Inc. を新たに連結したことによる増加（Clontech Laboratories, Inc. の買収時総資産額8,700百万円）及び株価上昇などによる投資有価証券の増加（増加額9,978百万円）などがその主な要因であります。

流動負債は52,632百万円となり9,481百万円の減少となりました。平成17年7月の第3回無担保社債の償還5,000百万円やコマーシャル・ペーパーの減少5,000百万円などがその主なものであります。

固定負債は54,834百万円となり12,526百万円増加しました。子会社であるタカラバイオ株式会社における新株予約権付社債の発行による増加2,200百万円(5,000百万円の発行及びその後の転換2,800百万円)、5,000百万円のシンジケートローンによる調達などによる長期借入金4,829百万円の増加、株価の上昇にともなう評価差額の増加による繰延税金負債の増加などがその主なものであります。

株主資本は利益剰余金の増加3,821百万円やその他有価証券評価差額金の増加5,762百万円などにより前年同期比10,405百万円増加し101,469百万円となりました。

以上の結果、株主資本比率は前年同期比1.9ポイント増加し46.2%となりました。

当第3四半期までの営業キャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益11,086百万円、減価償却費4,298百万円となりましたが、利益の調整項目として固定資産売却益1,605百万円(投資活動によるキャッシュ・フローへ)、持分変動利益2,583百万円、季節要因による売上債権の増加15,023百万円などがありましたので、ほぼ前年同期並みの582百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは有形・無形固定資産の取得による支出4,103百万円、Clontech Laboratories, Inc. 買収等による支出6,920百万円などがありましたので10,667百万円の支出となり、前年同期に比べ7,079百万円の支出の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは長期借入による収入5,000百万円、新株予約権付社債の発行による収入4,993百万円などの調達による収入がありました。一方、社債の償還による支出5,000百万円や配当金の支払による支出1,624百万円などの支出がありました。また、運転資金としてコマーシャル・ペーパーの発行がありましたが同期間にすべて償還しております。以上財務活動によるキャッシュ・フローは1,003百万円の収入となり、子会社であるタカラバイオ株式会社の上場に伴う調達などがあった前年同期に比べ9,287百万円の収入の減少となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末の残高は前年同期に比べ4,916百万円減少し21,525百万円となりました。

〔業績予想に関する定性的情報等〕

当社グループは、売上高及び利益水準の通期に占める第3四半期の比率が高いという特性もあり、現時点で売上高、経常利益の業績予想につきましては平成17年11月15日に公表しました数値に変更はありません。

当期純利益につきましては、子会社であるタカラバイオ株式会社の新株発行による持分変動利益の発生などがありましたので第3四半期は予想以上の増加となりました。

また、当連結会計年度より、子会社である宝酒造株式会社において財務の一層の健全化及び期間損益の精緻化を目的として、販売促進引当金を計上することとしました。従来、金額確定時に費用処理しておりました販売促進費につきましては、一定の合理的方法によって見積もることにより引当計上することとしたものであります。これに伴い、前連結会計年度末に同様の引当を行った場合の引当金相当額約14億円を特別損失として処理する予定であります。

以上の結果、通期業績予想につきましては売上高、経常利益は変更しておりませんが当期純利益は53億円(従来予想は44億円)を予定しております。

(通期業績予想については、現状の分析や業績等に影響を与える諸要因の動向等を勘案して作成しておりますが、実際の結果は業績予想と異なる場合が多いことをご了解下さい。)

(添付資料)

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨)

区 分	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)		(参考) 前連結会計年度 (平成17年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%		%
I 流動資産						
現金及び預金	20,051		26,960		27,595	
受取手形及び売掛金	65,992		64,013		49,841	
有 価 証 券	2,877		801		1,707	
たな卸資産	25,202		22,933		23,724	
その他の	4,060		4,288		3,539	
貸倒引当金	△121		△303		△205	
流動資産合計	118,063	53.7	118,694	57.7	106,202	55.7
II 固定資産						
有形固定資産	52,720		53,056		51,884	
無形固定資産	6,028		2,300		2,318	
投資その他の資産	42,893		31,607		30,367	
固定資産合計	101,642	46.3	86,964	42.3	84,570	44.3
資 産 合 計	219,706	100.0	205,659	100.0	190,773	100.0
(負 債 の 部)						
I 流動負債						
支払手形及び買掛金	17,182		16,314		15,302	
短期借入金	4,820		5,212		4,932	
1年以内に償還予定の社債	—		5,000		5,000	
コマーシャル・ペーパー	—		5,000		—	
未払酒税	14,173		14,268		9,579	
未払費用	5,124		4,820		4,798	
賞与引当金	1,091		1,118		2,086	
その他の	10,240		10,380		7,508	
流動負債合計	52,632	23.9	62,113	30.2	49,207	25.8

(百万円未満切捨)

区 分	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)		前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)		(参考) 前連結会計年度 (平成17年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
II 固定負債		%		%		%
社 債	20,000		20,000		20,000	
新株予約権付社債	2,200		—		—	
長期借入金	6,382		1,553		1,495	
退職給付引当金	7,868		7,555		7,576	
役員退職慰労引当金	704		622		654	
預り金	7,605		7,616		7,520	
その他	10,074		4,960		4,809	
固定負債合計	54,834	25.0	42,307	20.6	42,056	22.0
負債合計	107,466	48.9	104,421	50.8	91,263	47.8
(少数株主持分)						
少数株主持分	10,770	4.9	10,174	4.9	10,030	5.3
(資本の部)						
I 資本金	13,226	6.0	13,226	6.4	13,226	6.9
II 資本剰余金	3,205	1.5	3,158	1.5	3,158	1.7
III 利益剰余金	73,446	33.4	69,624	33.9	68,510	35.9
IV その他有価証券評価差額金	12,844	5.8	7,082	3.5	6,936	3.6
V 為替換算調整勘定	△312	△0.1	△610	△0.3	△859	△0.4
VI 自己株式	△941	△0.4	△1,417	△0.7	△1,493	△0.8
資本合計	101,469	46.2	91,063	44.3	89,478	46.9
負債、少数株主持分及び資本合計	219,706	100.0	205,659	100.0	190,773	100.0

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨)

区 分	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)		前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)		(参考) 前連結会計年度 平成17年3月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
I 売 上 高	151,489	100.0	152,149	100.0	195,359	100.0
II 売 上 原 価	92,024	60.7	92,464	60.8	119,114	61.0
III 売 上 総 利 益	59,464	39.3	59,685	39.2	76,244	39.0
IV 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	51,563	34.1	51,171	33.6	68,841	35.2
V 営 業 利 益	7,900	5.2	8,513	5.6	7,402	3.8
VI 営 業 外 収 益	842	0.6	740	0.5	915	0.5
VII 営 業 外 費 用	718	0.5	1,039	0.7	1,479	0.8
経 常 利 益	8,024	5.3	8,214	5.4	6,838	3.5
特 別 利 益	4,290	2.8	3,803	2.5	4,682	2.4
特 別 損 失	1,228	0.8	4,193	2.8	4,707	2.4
税金等調整前四半期(当期)純利益	11,086	7.3	7,824	5.1	6,813	3.5
税 金 費 用	4,633	3.0	4,112	2.7	4,347	2.3
少 数 株 主 損 失	187	0.1	15	0.0	147	0.1
四半期(当期)純利益	6,640	4.4	3,727	2.4	2,614	1.3

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)

	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	(参考) 前連結会計年度 平成17年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	11,086	7,824	6,813
減価償却費	4,298	4,081	5,628
固定資産売却益	△1,605	△1,128	△1,133
持分変動利益	△2,583	△2,281	△2,310
売上債権の増減額(増加:△)	△15,023	△13,154	920
たな卸資産の増減額(増加:△)	45	1,248	402
仕入債務の増減額(減少:△)	832	△54	△976
未払酒税の増減額(減少:△)	4,593	4,051	△637
その他の	1,687	3,421	3,410
小 計	3,331	4,007	12,118
法人税等の支払額	△3,882	△4,612	△4,342
その他の	△31	△99	△286
営業活動によるキャッシュ・フロー	△582	△703	7,489
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形・無形固定資産の取得による支出	△4,103	△5,847	△8,380
有形固定資産の売却による収入	1,729	1,316	1,459
連結範囲の変更を伴う子会社株式・出資金の取得による支出	△6,920	—	—
その他の	△1,372	943	2,134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,667	△3,587	△4,786
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入れによる収入	5,000	—	—
社債の償還による支出	△5,000	—	—
新株予約権付社債の発行による収入	4,993	—	—
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	8,000	10,000	10,000
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	△8,000	△5,000	△10,000
少数株主に対する株式の発行による収入	420	7,388	7,477
配当金の支払額	△1,624	△1,623	△1,625
自己株式取得による支出	△2,482	△53	△67
その他の	△304	△420	△736
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,003	10,290	5,047
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	172	6	△37
V 現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	△10,074	6,004	7,713
VI 現金及び現金同等物の期首残高	28,151	20,437	20,437
VII 株式交換による現金及び現金同等物の増加額	3,448	—	—
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	21,525	26,442	28,151

4. セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

(百万円未満切捨)

	当第3四半期 (自平成17年4月1日至平成17年12月31日)					
	酒類・食品	バイオ	その他	計	消去又は全社	連結
売上高 (1)外部顧客に対する売上高 (2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	138,205	10,765	2,518	151,489	—	151,489
計	345	8	6,018	6,372	(6,372)	—
計	138,551	10,773	8,536	157,861	(6,372)	151,489
営業費用	129,206	12,036	8,075	149,317	(5,728)	143,588
営業利益又は営業損失(△)	9,345	△1,262	461	8,544	(643)	7,900

	前第3四半期 (自平成16年4月1日至平成16年12月31日)					
	酒類・食品	バイオ	その他	計	消去又は全社	連結
売上高 (1)外部顧客に対する売上高 (2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	139,966	9,491	2,691	152,149	—	152,149
計	147	12	5,547	5,707	(5,707)	—
計	140,113	9,503	8,238	157,856	(5,707)	152,149
営業費用	130,331	10,632	7,790	148,754	(5,118)	143,635
営業利益又は営業損失(△)	9,782	△1,128	448	9,102	(588)	8,513

	前連結会計年度 (自平成16年4月1日至平成17年3月31日)					
	酒類・食品	バイオ	その他	計	消去又は全社	連結
売上高 (1)外部顧客に対する売上高 (2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	178,068	13,671	3,618	195,359	—	195,359
計	208	13	7,272	7,494	(7,494)	—
計	178,277	13,685	10,890	202,853	(7,494)	195,359
営業費用	169,632	14,762	10,256	194,650	(6,694)	187,956
営業利益又は営業損失(△)	8,644	△1,076	634	8,202	(799)	7,402

(注)①事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質に加え販売市場の類似性などを考慮して、酒類・食品、バイオ及びその他の3事業に区分しております。

②各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
酒類・食品	焼酎、ソフトアルコール飲料、清酒、ワイン、ウイスキー、中国酒、本みりん、食品調味料、原料用アルコール、果実飲料、健康飲料、乳飲料、ピアテイストドリンク
バイオ	試薬(遺伝子工学用、蛋白質工学用、細胞工学用、糖生物学用)、理化学機器、研究受託サービス、医療機器、キノコ、しめじ技術指導、アシタバ、バイオ医食品
その他	ラベル、ポスター、カタログ、カートン、段ボールケース、包装紙、販促用品、不動産賃貸

③営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の当第3四半期の金額は723百万円であり、これは持株会社である連結財務諸表提出会社で発生したものであります。

前第3四半期及び前連結会計年度のその金額は、それぞれ706百万円及び925百万円であります。

2. 所在地別セグメント情報

当第3四半期(自平成17年4月1日至平成17年12月31日)、前第3四半期(自平成16年4月1日至平成16年12月31日)及び前連結会計年度(自平成16年4月1日至平成17年3月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が、いずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載は省略しております。

3. 海外売上高

当第3四半期(自平成17年4月1日至平成17年12月31日)、前第3四半期(自平成16年4月1日至平成16年12月31日)及び前連結会計年度(自平成16年4月1日至平成17年3月31日)

海外売上高が、いずれも連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載は省略しております。

5. 販売の状況

販売実績

当第3四半期における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(百万円未満切捨)

事業の種類別セグメント	当第3四半期 (H17. 4. 1～ H17. 12. 31)	前第3四半期 (H16. 4. 1～ H16. 12. 31)	前年同期比
	百万円	百万円	%
酒 類 ・ 食 品			
焼 酎	61,911	61,493	100.7
ソフトアルコール飲料	15,490	16,985	91.2
清 酒	20,806	20,267	102.7
そ の 他 酒 類	7,549	7,863	96.0
酒 類 計	105,757	106,610	99.2
本 み り ん	12,937	12,633	102.4
そ の 他 調 味 料	3,740	3,539	105.7
調 味 料 計	16,677	16,173	103.1
飲 料	9,773	11,282	86.6
原料用アルコール等	2,761	2,711	101.8
そ の 他	3,235	3,188	101.5
計	138,205	139,966	98.7
バ イ オ	10,765	9,491	113.4
そ の 他	2,518	2,691	93.6
合 計	151,489	152,149	99.6

(注) 1. セグメント間の内部売上高は除いて記載しております。

2. 金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。